

皆様方と共に新年をお迎えし、今年も共に仏法聴聞出来ますこと誠に、御芽(おめ)出(で)到(とう)ございます。

昨今、報恩講をはじめ仏事としてのお寺への参詣の減少など、いわゆる寺離れ現象が加速していることを実感する。しかしながら反面、お寺で開催される落語や音楽のイベントには思いの外、人が集まるものの、その後のお寺での行事には繋がらないのが実情である。寺はその昔、報恩講などの各行事には、人生の悩みや問題を仏法に聞くとという方々も多く居られたであろう。

『仏法で織りなす人生の彩り』 人生の節目を仏事として仏法に聞く

光寿無量



第38号
平成31年
(2019年)
1月・2月
・3月号
発行：編集
岡崎別院
輪番 福田 大

〈一〇三月の法座案内〉		
修正会	〇一月一日(火)七時〃	輪番
*二〇一九年より「門徒新年会」は一月十三日の新年会と合同となります。		
宗祖を訪ねて	〇二月 三日(日)十四時〃 〇三月 三日(日)十四時〃	輪番 輪番
味読正信偈	〇一月二十三日(水)十時〃 〇二月十三日(水)九時半〃 〇三月十三日(水)九時半〃	輪番 輪番 輪番
歎異抄を読む	〇一月十三日(日)十時〃 ※引き続き岡崎別院新年会 〇二月二十三日(土)九時半〃	列座 列座 列座
春季彼岸会・永代経 〇三月二十三日(土)九時半〃 講師 近江第二組良覺寺 谷大輔 師 講題 「深く生きる」		

〈結婚式〉



九月三十日挙式
長田紫乃さん
Marc Fuhrbergさん



十月六日挙式
松川 智絵さん
磯野 恵嗣さん



十一月十八日挙式
荒井 真実さん
太田 拓磨さん

結婚式予約状況

二〇一九年
☆二月二日 渡邊・甘蔗生家
四月七日 本田家
六月九日 某家
※詳細はホームページをご覧ください

宗史蹟親鸞聖人岡崎草庵跡
真宗大谷派(東本願寺)

岡崎別院

〒606-8335
京都市左京区岡崎天王町
26番地

電話 075-771-2921
FAX 075-748-1665
<http://okazakibetsuin.com>
info@okazakibetsuin.com

へ列座のつづやき
毎年この時期になると「今年もあつという間」という言葉がお決まりになっている日々です。台風二十一号により、倒木を始めとしたさまざまな被害への対応もあり、「これが片付いたら次はこれ」という事の繰り返しでした。鏡池だよりを出す度に掲載している行事の記録なども、どんな行事をしたかは覚えていてもそれがいつだったかはすっかり忘れていたことがほとんどです。

こうして三か月に一度鏡池だよりを発行する度に「そういえばこの時期はこんなことをしていたなあ」と思い出しています。思い出すのから次回以降はどう改善すべきかと、こんな失敗したな、とかいうことを思い出すべきなのに、都合の悪いことは忘れたままになっています。いつの間にか明日が今日になって、いつの間にか今日が昨日になって・・・繰り返している内にいつの間にか一年が終わっている気がします。来年は「いつの間にか」終わらないように過ごしていけたら、と思っています。(近藤)

しかし、反面、縁日の出店を楽しみに、老若男女が押し寄せ、今で言うアミューズメントパーク的な要素のなかで、多くの方が参詣されたのかもしれない。

時代が変われども人間の悩みや人生における課題には根本的にあまり変化はないように思われる。人間として生まれ、成人し、やがては結婚、子どもを授かり、還暦、喜寿、米寿……と人生を歩んでいく上で、必ず節目を通り過ぎる。その節目こそ、仏法を聞く仏事を営む大切な機縁になるのではないか。

葬儀、法事、も大切な仏事ではあるが、誕生児初参式、成人式、結婚式、還暦式、喜寿式、米寿式等も実は大切な仏事ではなからうか。

現代は、人生の節目を仏事として仏法に聞く、その機会造りが、私に求められているような気がする。また、その機会こそが仏法で我が人生の彩りを織りなしていくのではないか。



落語とJAZZのタベ

十月三日、山城第二組主催による「落語とJAZZのタベ」が開催された。「落語と〇〇のタベ」と題されたイベントは今回で十二年目となり、当日は開場前から行列が出来、開演時には本堂の外まで人があふれる程、多数の方が来場された。

JAZZ演奏者は左の通り（敬称略）
 v o 麻生優佳
 a s 本並ともみ
 b 牧慧
 d r 辻川郷
 p 須田敏夫

有名曲などを織り交ぜたプロの演奏の後、堂内は大きな拍手に包まれた。

JAZZの後は桂塩鯛さんによる落語が行われた。多数が来場された為、本堂の戸は外で聞こえる塩鯛氏の声とたくさんの笑い声が境内に響いていた。



板橋宏憲師

九月二十三日、秋季彼岸会が開催され約三十名が参詣された。お勤めの後、本願寺派奈良県教学寺住職の板橋宏憲師による法話が行われた。講題は「願いに生かされる」

秋季彼岸会



台風被害復旧報告と御礼

二〇一八年九月の台風二十一号により別院境内、建物に被害があつたことを前号にてご紹介させて頂きました。その後、本年度報告の前には、復旧作業がほぼ完了し、報恩講当日には前年度と変わらぬ法要を厳修することができました。

岡崎別院奉賛会より多額の助成を頂戴しました。また、寺院関係者、三日講・ご門徒有志の皆様にも様々な形で復旧にご協力頂きました。紙面をもちまして改めて御礼申し上げます。



講師の説明を聞く参加者



出来上がった盆栽

九月二十九日、書院にてテラススクール「盆栽のワークショップ」が開かれた。別院境内にある八房の梅の挿し芽等でお世話になっている大溝松清園の大溝氏、庭園境内整備でいつもお世話になっている木村氏のお二人を講師に迎え、寒椿の盆栽を作成した。

十組以上の参加者があり、終了後はそれぞれが自分の鉢を持ち帰った。

テラススクール



本堂での記念写真

二〇一七年六月、式に岡崎別院に参式に参した。お勤めの後、本堂で記念写真を撮りました。

銀杏の前など、別院の風景を撮りました。

挙式者の来院

二〇一八年度岡崎別院報恩講

十月二十三日、信悟院殿御参修、真城義麿師御教導によって、当院の報恩講が厳修され、総勢およそ百三十名が参勤・参詣に訪れた。

本山定衆・堂衆・参衆並びに山城一組・二組組内法中が出仕され、岡崎別院雅楽会による楽が奏でられる中、お勤めが行われた。

お勤めの後、「我がために為されたるを知る」という講題で真城師による法話が行われた。参詣の方々はそれぞれにうなずくなど、熱心に聞き入っておられた。

また、法話後には参勤・参詣の方々



当日の山門



室内での勤行



講師 真城 義麿師



御俗姓の拝読



参詣者



岡崎別院雅楽会

にお斎が配られた。持ち帰られる方の他、書院や庭園に用意された床机で召し上がるなど様々な姿が見られた。

あわせて茶室「翠雲亭」では抹茶接待が行われた。

本年度は前日の準備より三日講有志の方々のお力添えもいただきました。

報恩講前おみがき

十月二十日、三日講員・ご門徒参加のもと報恩講に向けたおみがきが行われた。

終了後は御文のミニ学習会が行われ、参加者全員で特製カレーを頂いた。



みんなでおみがき



御文学習会

報恩講前清掃奉仕



本堂内の清掃

十月十日、山城第一組、第二組並びに仏青主催の元、報恩講前の清掃奉仕が行われた。内陣の清掃や廊下・窓ガラスの清掃など多数の方にご協力いただいた。

庭園では台風で池に落下した折枝の修理などもお手伝い頂いた。